

科目名	スポーツトレーナー実践Ⅲ					
分野	その他の分野	担当教員	深谷 高治			
開講時期	1学年(集中講義)	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	トレーナーとして活動する際に必要な傷害の評価と傷害に対するアスレチックリハビリテーションの技能をモデルケースへの対応実習を行いながら身につける。実技ができるだけでなく、自ら考え、アスレチックリハビリテーションに必要な評価や処方ができるようになることを目指す。					
学習の到達目標	<p>主要なスポーツ傷害の評価を一人でできる。</p> <p>主要なスポーツ傷害に対するアスレチックリハビリテーションやトレーニングのプログラミングができる。</p> <p>対象者へのアスレチックリハビリテーションやトレーニングが指導できる。</p>					
成績評価の方法と基準	課題、出席、平常点で評価する。					
使用テキスト	日本体育協会公認アスレチックトレーナー専門科目テキスト					
参考文献	なし					
講義計画	講義内容					
1	姿勢評価 No1					
2	姿勢評価 No2					
3	不良姿勢に対する改善法 No1					
4	不良姿勢に対する改善法 No2					
5	超音波装置の使い方と読影法 No1					
6	超音波装置の使い方と読影法 No2					
7	ビック3について(スクワット、ベンチプレス、デッドリフト)					
8	足関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No1					
9	足関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No2					
10	肉離れの病態理解、リハビリ、テーピング方法					
11	膝関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No1					
12	膝関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法 No2					
13	指関節捻挫の病態理解、リハビリ、テーピング方法					
14	偏平足、外反母趾の病態理解、リハビリ、テーピング方法					
15	総合評価(まとめ)					